

行動経済学会 第8回大会プログラム(簡易版) 2014年11月26日現在
2014年12月6日～7日

- * 南校舎の教室番号は最初の数字4が南校舎を表し、2番目の数字が階数を表します。
- * 南校舎の教室内とホール内、北館のホール内と廊下は飲食禁止となっております。ご協力をお願いいたします。

1日目

9:30～

受付 南校舎6階 463教室

		南校舎441教室	南校舎442教室	南校舎451教室
		一般報告		
セッション名	消費者行動A	実験経済学B	行動ファイナンス A	
座長	川西 諭(上智大学)	竹内 幹(一橋大学)	井上 光太郎(東京工業大学)	
報告題名	消費者安全とアノマリー: 消費者事故は消費者の自己責任か	Worldviews and Altruistic Behavior: An Experimental Study	機関投資家はアービトラージャーなのか? 日本の株式市場における検	
報告者	高橋 義明(筑波大学)	李 嬋娟(明治学院大学) 【奨】	岩澤 誠一郎(名古屋商科大学)	
討論者	筒井義郎(甲南大学)	神谷 祐介(龍谷大学)	井上 光太郎(東京工業大学)	
10:00 ～ 12:15	報告題名	消費者の一般用医薬品購入選択におけるコンジョイント分析を用いたブランド効果と価格プラセボ効果の比較検証	Affirmative Action in School Choice Problem: An Experiment	Analysts' preference for growth investing and vulnerability to market-wide sentiment
	報告者	野田 隼人(朝日大学大学院) 【J】	川越 敏司(公立はこだて未来大学)	三輪 宏太郎(東京海上アセットマネジメント) 【奨】
	討論者	竹村 和久(早稲田大学)	竹内 幹(一橋大学)	山崎 尚志(神戸大学)
	報告題名	消費者の慣習形成を考慮したブランド選択モデルの構造推定	An Experimental Analysis of Bubble: Private Information and Trading Behavior	Stock Crash and R-squared around a Catastrophic Event: Evidence from the Great East Japan
	報告者	加藤 諒(名古屋大学大学院) 【奨】	北村 智紀(ニッセイ基礎研究所)	山本 達司(大阪大学)
	討論者	會田 剛史(日本学術振興会特別研究員・政策研究大学院大学)	竹内 幹(一橋大学)	岡田 克彦(関西学院大学)

1日目

		南校舎452教室	南校舎461教室	南校舎462教室
		一般報告		
セッション名	時間選好	幸福の経済学A	インセンティブ	
座長	高橋 泰城(北海道大学)	亀坂 安紀子(青山学院大学)	友野 典男(明治大学)	
報告題名	Procrastination problem in meeting homework deadlines - Evidence from quasi-experiment -	* 本セッションは10時45分より開始	* 本セッションは10時45分より開始	
報告者	萱場 豊(東京大学)【J】【奨】			
討論者	竹内 幹(一橋大学)			
10:00 ~ 12:15	報告題名	行動経済指標による金融行動の個人差の理解 —金融・リスク資産投資における時間割引率と危険回避度の影響—	Activity, Time, and Subjective Happiness: An analysis Based on an Hourly Web survey	オフィス環境におけるナッジを用いた省エネルギー・節電促進策に関する考察
	報告者	竹内 真登(名古屋大学大学院)【奨】	坂和 秀晃(名古屋市立大学)【奨】	河野 友香(京都大学大学院)【奨】
	討論者	萱場 豊(東京大学)	亀坂 安紀子(青山学院大学)	友野 典男(明治大学)
報告題名	感情の変化が時間選好に及ぼす影響	Happiness Before and After an Election: An Analysis Based on a Daily Survey around Japan's 2009 Election	インセンティブ、コミットメント、フレーミングによる合理的選択: 中小企業金融円滑化法とモラル・ハザード問題を題材にして	
報告者	黒川 博文(大阪大学大学院)	筒井 義郎(甲南大学)	藤森 裕美(青山学院大学)【J】	
討論者	高橋 泰城(北海道大学)	白石 小百合(横浜市立大学)	山根 承子(近畿大学)	

12:15~13:30	昼食			
-------------	----	--	--	--

1日目

	南校舎443教室	南校舎445教室	南校舎446教室	
13:30 ～ 14:45	特別セッション			
	マーケティング	フィールド実験	リターンの季節性研究の現況	
	座長 星野 崇宏(名古屋大学)	川西 諭(上智大学)	角田 康夫(元三菱UFJ信託銀行)	
	報告題名	マーケティングリサーチにおいて生じるバイアスの行動経済学的な理解と対応	ハイブリッド・フィールド実験: 途上国と日本の事例から	株式市場の季節性
	報告者	萩原雅之(トランスコスモス・アナリティクス)	澤田康幸(東京大学)	岡田 克彦(関西学院大学)
	報告題名	ポイントと現金の心理的会計は異なるか?	貯蓄と資産運用のフィールド実験	リスク回避性の季節性
報告者	中川宏道(中村学園大学流通科学部)	田中知美(世界銀行)	角田 康夫(元三菱UFJ信託銀行)	

14:45～15:15	休憩
-------------	----

南校舎ホール	
15:15～15:45	総会 (第7回大会奨励賞授賞式)

15:45～17:00	行動経済学会会長講演 大竹文雄(大阪大学) 世代の経済学
-------------	------------------------------------

17:10～18:25	招待講演 William Goetzmann (Yale大学経営大学院) Weather-Induced Mood, Institutional Investors, and Stock Returns
-------------	---

北館 ファカルティ・クラブ	
18:40～	懇親会

2日目

9:00~

受付

南校舎6階 463教室

		南校舎441教室	南校舎442教室	南校舎451教室	
		一般報告			
セッション名	消費者行動B	実験経済学A		消費者行動C	
座長	俊野 雅司(成蹊大学)	川越 敏司(公立ほこだて未来大学)		星野 崇宏(名古屋大学)	
報告題名	CVMを用いたハタハタの経済評価	The Persistence of Intrinsic and Extrinsic Motivation: Experimental Evidence from Energy Demand		たばこ需要の特殊性を考慮した税収への影響分析	
報告者	岡本 健哉(秋田県立大学)【奨】	依田 高典(京都大学)		滝沢 昌平(秋田県立大学)【奨】	
討論者	山田 歩(滋賀県立大学)	川越 敏司(公立ほこだて未来大学)		久米 功一(リクルートワークス研究所)	
9:30 ~ 11:45	報告題名	選好する消費パターンを識別した習慣形成仮説の検証	An Experimental Study of Money Illusion in Intertemporal Decision	An Exact Conformity of Online Donors	
	報告者	岩本 光一郎(愛知学泉大学)	山森 哲雄(高崎経済大学)【奨】	佐々木 周作(大阪大学大学院)【奨】	
	討論者	俊野 雅司(成蹊大学)	依田 高典(京都大学)	星野 崇宏(名古屋大学)	
	報告題名	* 本セッションは11時に終了予定	Altruism or Exchange? An Experimental Evidence on the Motives behind Private Transfer in Sri Lanka		選択肢の分割が世論調査の回答に与える影響
	報告者		會田 剛史(日本学術振興会特別研究員・政策研究大学院大学)【J】【奨】		山田 歩(滋賀県立大学)【奨】
討論者		山森 哲雄(高崎経済大学)		星野 崇宏(名古屋大学)	

2日目

		南校舎452教室	南校舎461教室	南校舎462教室
		一般報告		
9:30 ~ 11:45	セッション名	行動ファイナンスB	幸福の経済学B	東日本大震災と個人の選好
	座長	真壁 昭夫(信州大学)	山口 勝業(イボットソン・アソシエイツ)	亀坂 安紀子(青山学院大学)
	報告題名	* 本セッションは10時15分より開始	* 本セッションは10時15分より開始	* 本セッションは10時15分より開始
	報告者			
	討論者			
	報告題名	Trading profitability from learning and adaptation on the Tokyo Stock Exchange	Multidimensional Poverty in Japan	東日本大震災が日本人の経済的選考に与えた影響
	報告者	山本 竜市(早稲田大学)	田村 輝之(上智大学)【奨】	明坂弥香(大阪大学大学院)【奨】
	討論者	真壁 昭夫(信州大学)	山口 勝業(イボットソン・アソシエイツ)	花岡 智恵(京都産業大学)
	報告題名	蟻とトレーダーとファットテイル - Kirman(1993)モデルの応用-	パーソナリティ特性の形成要因 - 家庭・学校・職場の経験から	東日本大震災被災地における個人の選好と健康: Convex Time Budget (CBT) 法による分析
	報告者	佐野 一雄(福井県立大学)	久米 功一(リクルートワークス研究所)	芦田登代(東京大学大学院医学系研究科)【奨】【J】
討論者	楡井 誠(一橋大学イノベーション研究センター)	高橋 雄介(京都大学)	康 明逸(朝鮮大学校)	
		北館ホール 1階廊下	北館ホール 1階会議室2	
11:45~13:30		ポスター・セッション	スナック、コーヒー、紅茶	

2日目

		北館ホール234教室	南校舎411教室
13:30 ～ 14:45		一般向け教育セッション	研究者向け教育セッション
	セッション名	幸福に関する調査と研究の動向	神経経済学の基礎と応用
	座長	村井俊哉(京都大学大学院医学研究科)	高橋泰城(北海道大学)
	報告題名	幸福度・社会進歩測定の実際	神経経済学の現状と産業応用への展望
	報告者	桑原進(日経センターおよび内閣府)	山川 義徳(内閣府 革新的研究開発推進プログラム)
	報告題名	雇用の非正規化がもたらす幸福感への影響－幸福感の分解分析を用いたアプローチ	神経細胞の作動原理の経済性
報告者	八木匡(同志社大学)	坪 泰宏(立命館大学 神経情報システム研究室)	

14:45～15:00 休憩

		南校舎ホール
15:00 ～ 16:15		パネルディスカッション
	テーマ	老後への備えができないのはなぜか？
	司会	田村正之(日本経済新聞)
	基調講演	野尻哲史(フィデリティ退職・投資教育研究所)
ディスカッション		大江英樹(オフィス・リベルタス) 北村智紀(ニッセイ基礎研究所)

【J】ジョブセミナー
【奨】奨励賞審査対象報告

ポスターセッション 2日目 12月7日 11:45~13:30

- | | |
|---|---|
| ○黒川博文(大阪大学大学院),犬飼佳吾,大竹文雄 | 感情の変化が時間選好に及ぼす影響 |
| ○佐々木周作(大阪大学大学院) | An Exact Conformity of Online Donors |
| ○會田剛史(日本学術振興会特別研究員・政策研究大学院大学),
澤田康幸 | Altruism or Exchange? An Experimental Evidence on the Motives behind
Private Transfer in Sri Lanka |
| ○芦田登代(東京大学大学院医学系研究科),黒石悠介,澤田康幸 | 東日本大震災被災地における個人の選好と健康: Convex Time Budget
(CBT)法による分析 |
| ○李嬋娟(明治学院大学),赤林英夫,亀坂安紀子, Byung-Yeon Kim,
Hyeog Ug Kwon, Hyoung-Seok Lim, 大垣昌夫, 大竹文雄, Xiangyu
Qu | Worldviews and Altruistic Behavior: An Experimental Study |
| ○明坂弥香(大阪大学大学院),大竹文雄,齊藤誠 | 東日本大震災が日本人の経済的選考に与えた影響 |
| ○周夢媛(慶應義塾大学大学院) | Comparison for reference group in life satisfaction: Who will choose
“Classmates” “Relatives” and “Family of children’s classmates” as their
reference group? |
| ○末本充洋, 河原崎亮, 服部愛未, 伊藤有理奈(慶應義塾大学) | 絆重視の世界観がクラウドファンディングの利用に与える影響 |
| ○五島圭一(東京工業大学), 高橋大志 | 企業経営における退職給付制度の設計と運用 -意思決定バイアスが年金 |
| ○平澤聖也(秋田県立大学), 嶋崎善章 | 漁業者の行動を考慮したハタハタ資源の管理 |
| ○芦立剛樹(高知工科大学大学院), 上條良夫, 竹田朝子 | 実験経済学からのバブルの検証 |
| ○佐野由佳, 武田景斗, 中村晴美, 藤部誠矢(慶應義塾大学) | 直観主義が期間限定商品の購買行動に与える影響について |
| ○工藤哲平, 堤美沙希, 深澤裕理子, 辻本尊之(慶應義塾大学) | 長期的な目標にたいして使命感を持つ世界観が、したくなくてもしてしまう経
済行動に与える影響 |
| ○藤田うらら, 赤井理奈, 室川明良, 服部元(慶應義塾大学) | 認知的不協和が行列行動に与える影響 |
| ○柴田直幸, 長嶋彩香, 中塚雅恵, 小田川聖也(慶應義塾大学) | 責任感と帰属意識が大学生の交際費に与える影響について |